

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成27年度高松市健康危機管理連絡会
開催日時	平成28年2月4日(木) 13時30分～14時10分
開催場所	高松市保健所 2階 大会議室
議 題	(1) 食中毒・感染症の発生状況 (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	大西会長、原岡副会長、伊藤委員、稲本委員、田中委員、井上委員、小西委員、大倉委員、寺嶋委員、西村委員、藤本委員、前谷委員、大西委員、宮脇委員、岸本委員、濱崎委員
傍 聴 者	0 人
担当課及び連絡先	保健対策課 839-2860

会議経過及び会議結果

会議を開会し、次の議題について報告・意見交換を行い、下記の結果となった。

- 1 会長あいさつ
- 2 報告事項についての検討

報告事項 1

食中毒・感染症の発生状況

食中毒及び感染症の平成27年中の発生状況について、事務局より説明を行った。

【質疑応答・意見】

委 員) 1月24日発生のノロウイルスについて、「GⅡ」と表記されているが、これは従来型のノロウイルスなのか。

事務局) 従来型のものです。

会 長) 今年に入ってから発生事案は。

事務局) 今年になってから、食中毒は発生していません。

会 長) 昨年は幸いにも香川県全体でも食中毒の事案が少なかった。多いときには年間で10数件発生することもある。最近の傾向として、カンピロバクターなどの状況はどうなっているか。

事務局) 最近の状況として、カンピロバクターやノロウイルスが食中毒の大きな原因になっています。季節性ということでは、やはり冬場にはノロウイルスが出てくる状況にあります。

会 長) 結核に関しては、罹患率が上がったり下がったりという状況になっており、平成27年は10.2でしたが、平成23年に10.5

会議経過及び会議結果

という非常に良い数字が出たときには、このまま一けた台に突入しないかと期待していたが、翌年以降また増加しました。東京オリンピックまであと5年程度ありますが、何とか一けた台を目指していける可能性も出てきているのかなと思います。特に肺結核が着実に減ってきているような状況にあります。3類感染症に関しては、生レバーやユッケ等の生食が制限されましたので、確実に〇157の数が減り、重症度の低い事例のものに移っているのと思われま。一方で、生レバーが禁止されてから、新たに鳥の生肉によるカンピロバクターや豚の生肉によるE型肝炎などが出てくるような状況です。

委員) 4類感染症のレジオネラ症について、平成27年に6人が発症とあるが、事例数も6事例ということによいか。また、原因については例えば入浴施設であるとか、その内訳はどうなっているか。

事務局) 事例数としては6事例で、いずれも単発の事例であり、尿中抗原が検出されている事例です。水系感染が疑われたのが2事例、残りは不明ということです。感染経路について聞き取りをしましたが、原因は不明でした。

報告事項2

その他

昨年度からのエボラ出血熱・MERS・デング熱の動向等、並びに今季のインフルエンザ流行状況、南米におけるジカ熱の動向等について、事務局より説明を行った。

【質疑応答・意見】

委員) 今のところ市内での発生事例はないということによいか。

事務局) 市内での発生事例はありません。国からの情報として、2013年以降、輸入症例で3例ほど出ているということです。

委員) ギラン・バレー症候群が疑われる患者が病院にいられた場合、渡航歴がなければジカ熱の可能性は考えなくてもいいのか。

事務局) 今の時点では、その通りです。

会長) 今後、国から症例定義による対応が示されると思います。3例の輸入症例の内、1例はタイ、2例は南太平洋方面で蚊に刺されたという報告があったかと思えます。4類感染症に指定される前後に症例定義などが示されるのではないか。いずれにしても、ジカ熱に感染する蚊が、デング熱と同様にヒトスジシマカにも可能性があるということなので、オリンピックの時期あたりで発症事例などが出る可能性もありますが、南米ではネッタイシマカが原因となっていますので、今後いろいろと情報が出てくると思われます。